



どぶろくを入れたコップを掲げて乾杯し4年ぶりの祝宴を楽しむ区民

た。けつくりになる」と話していた。(今井則幸)

「祭りは地域の大切な人たちとより親しくなる、きっかけづくりになる」と話していた。

2年前に同区に転居し祝宴参加は初めてという4丁目の会社員、田中誠之さん(35)は、初めて味わったどぶろくに「おいしい」と笑顔。「祭りは地域の大切な人たちとより親しくなる、きっかけづくりになる」と話していた。

「祭りは地域の大切な人たちとより親しくなる、きっかけづくりになる」と話していた。

# どぶろく祭 4年ぶり祝宴

際よく火をおこした。麻に付いた種火を

口下今の初めではないかという。市の無形文化財に指定され、古式にのっとって行われるのが特徴で、境内にある醸造蔵でどぶろくが造られ、神前にはどぶろくと鹿肉、ウドが供えられる。鹿肉をゆでるかまとは近くの上山から丸石を調達して作り、木の板と棒を使っ

茅野市本町の御座石神社恒例のどぶろく祭は27日あった。新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年から神事のみを行ってきたが、今回は4年ぶりに祝宴を再開。にぎやかに、どぶろくを酌み交わす区民の姿が再び境内に戻った。約400人が参集した。

同区のどぶろく祭は、記録に残るだけでも今から800年ほど前の鎌倉時代から続くといいい、祝宴が中止になったのはコ

## 茅野の御座石神社

この日は、1〜6丁目の各会長のうち3人が代わる代わる棒を両手でもんで手